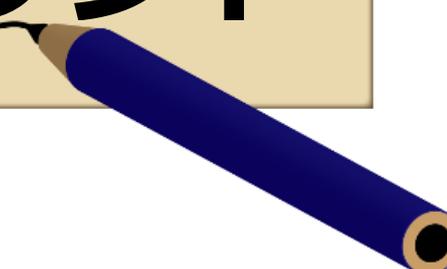


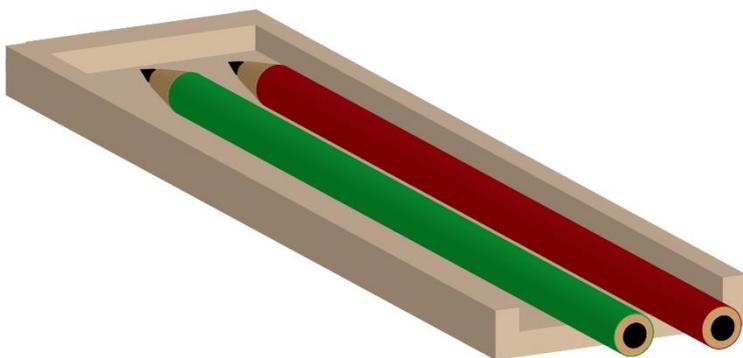
ラーニングアドバイザーがおすすめる・・・

地域（観光地）ブランド



概要

観光分野において地域ブランドの英語原文として Destination Brand あるいは Destination Branding がよく使われている。日本語の場合では、昔から地産品に付くブランド（製品名）のことから近年地域全般のことに関連するブランド（地域そのもののイメージなど）のことに拡張しつつある。基本理論は Aaker や Keller などの代表的な一般的なブランド理論が適用できるが、地域（Destination）に関わるという点で、ブランドイメージを特に重視することなど独自なところも存在する。



発行：2017.3

和歌山大学附属図書館

作成：ラーニング・アドバイザー
（観光学研究科）

1. 検索用キーワード

地域ブランドに関する内容を検索する際に、無論「地域ブランド」という言葉そのままキーワードにしても構わないが、ヒットしたものが絞られていないため閲覧しにくいと予想できる。

解決するために、まず地域ブランドに関するどのようなものを検索したいのかを決めよう。例えば、地域ブランドの実際例を見たい場合は、「地域ブランド 事例」で検索するが、「地域ブランド 和歌山」のような具体地名を入れて検索を行なう。

そこで、組み合わせの検索方法以外に、検索ワードを置き換える場合もある。

他に、「Destination Brand」を日本語に訳す際に（「地域ブランド」に）、既に日本における「コミュニティー」のニュアンスが入っている。そのために、特に観光分野の地域ブランド（英文元々の使い方）で検索したい場合、「観光地ブランド」か「Destination Brand」そのまま使うのも方法のひとつになる。

また、地域ブランドに関する法令などの場合では、特許庁などの公的機関 HP で直接調べるか、「地域団体商標」などの直接関連する名称で検索する。

以上の内容をまとめると、いくつかの検索用キーワードが参考になる。

地域ブランド・観光地ブランド・Destination Brand・地域団体商標・・・

参考サイト：

- ◆ブランド総合研究所「地域ブランド」ページ

<http://tiiki.jp/brand/index.html>

Point：地域活性化と繋がる「地域ブランド戦略」の構成について説明した

- ◆ブランド総合研究所「地域ブランド調査」ページ

http://tiiki.jp/brand_research/index.html

Point：2006年から実施された調査；「魅力度やイメージ、観光・居住・産品購入の意欲など」の分野から、観光だけではなく地域全般の魅力度を評価するランキング付け

- ◆電通 abic「地域ブランドとは」ページ

<http://www.dentsu.co.jp/abic/method/contents01.html>

Point：『地域ブランド・マネジメント』に書かれた「地域ブランド」の概念の集約

- ◆特許庁「地域団体商標制度」ページ

https://www.jpo.go.jp/cgi/link.cgi?url=/torikumi/t_torikumi/t_dantai_syohyou.htm

Point：「地域団体商標制度」についての説明及び登録案件の紹介など

2.参考図書

2-1.ブランドについての基本を知るには

- ◆『**戦略的ブランド・マネジメント 第3版**』ケビン・レーン・ケラー
(配架場所：2F・開架図書 請求記号：675.3||KK 書誌ID：1000397621)

(*Strategic Brand Management: building, measuring, and managing brand equity*, Kevin Lane Keller)

Intro. By Tips :

- あらゆるブランドの要素を網羅するブランド論の王道参考書
- 古いバージョンについて使われるケースも古いため、新しいバージョンがオススメ
- 和文の最新バージョン（エッセンシャル第四版）については、英文第四版を内容抜粋し日本企業の事例を足したものとなる

- ◆『**ブランド・エクイティ戦略—競争優位をつくりだす名前、シンボル、スローガン**』D・A・アーカー著

(配架場所：2F・開架図書 請求記号：675.3||AD 書誌ID：1000109886)

(*Managing brand equity*, David A. Aaker)

Intro. By Tips :

- ブランド・エクイティの確立、維持などからブランドの競争優位を語るブランド論の参考書
- ブランド・エクイティから地域ブランドと一般ブランドの区別をつける時と地域ブランドの位置づけをする時に役に立つ参考書
- 翻訳書より英文原書がオススメ

- ◆『**ブランド戦略の実際**』小川孔輔著

(配架場所：1F・文庫・新書 請求記号：081|||N 書誌ID：1000408838)

Intro. By Tips :

- 題名通りブランド紹介とブランド戦略紹介の入門書
- 日本人著者によって、日本企業のケースも紹介されているので、翻訳書より読みやすい

2-2.地域（観光地）ブランドのことを知るには

◆『地域ブランド・マネジメント』和田充夫ほか著

（配架場所：2F・開架図書 請求記号：601.1||WM 書誌ID：1000400377）

Intro. By Tips：

- 地域ブランドに関する諸理論をケースの上で紹介する地域ブランドの入門書
- 地域ブランドの新たな定義などが多くの論文に引用されている

◆*Destination Marketing Organisations*, Steven Pike

（配架場所：2F・開架図書 請求記号：689.3||PS 書誌ID：1000397766）

Intro. By Tips：

- DMO 視点で地域ブランドの独自性を論じた専門書
- 教科書構成で読みやすいが、ブランド以外の理論が大量に入っていることと英文のため、理解しづらい箇所がしばしば出てくるかもしれない

3.関係する研究者の例

地域（観光地ブランド）ブランドに関して様々な研究者がいる中で、和歌山大学観光学部先代学部長の大橋昭一先生は地域ブランド（観光地ブランド）の理論形成と構築を非常に系統的にまとめていた。また、同じく現観光学部の大井達雄先生も地域ブランド（観光地ブランド）の評価基準について研究したことがある。

★本文中で紹介されている図書の探し方★

和歌山大学附属図書館トップページのOPAC検索窓に、10桁の書誌IDを入力して検索してください。

<http://www.lib.wakayama-u.ac.jp/>

和歌山大学附属図書館